

★今までお金のために働くと思いがちだったけれど、一つの仕事はみんなを支えるという話を聞き、僕が将来やるかもしれない定食屋さんも、たくさんの人が自分を頼ってくれると思うとうれしい気持ちになります。いつかは、やっていて楽しいと思えるようにしたいです。また、自分の将来の夢にも、講師の先生のようなアイデアを取り入れたいです。

★私には大きな夢はないのですが、小さな夢はたくさん見つかりました。なんとなくだけど、介護のような人の役に立つ仕事に就きたいと頭の中で整理することができました。私も、講師の先生のように、自分が生きてきた人生を、大人になってから堂々と話せるような、そんな大人になりたいです。

★私は今まで、自分だけが楽しかったりすればよいと思っていました。けれど、講師の先生の話聞いて、人の役に立つ大人になりたいと思いました。夢と目標をつなぎあわせ、夢に向かって日々努力して、しっかりと最後までやり遂げる大人にもなりたいと思いました。

★講師の先生の話の中に「仕事=人の役に立つこと」というのがあり、それを聞いて、僕も人の役に立ちたいと思いました。まだ夢はないけれど、どんな職業に就いたって人の役に立つことができると思うから、これから仕事の内容については考えていきたいです。まずは、配り物のボランティアやごみ拾いボランティアをします。ボランティアは人の役に立つことだから、ボランティアをたくさん行って人の役に立つ練習をしたい。

★私は小説編集者になるのが夢だったのですが、講師の先生の話聞いて、それだと仕事になってしまうので、「とてもおもしろくて長く読まれる本を、小説家さんといっしょにつくれる小説編集者になりたい」と付け加えました。また、社会人になってからどんなこともあきらめない大人になりたいと思いました。あきらめることで、できることもできなくなってしまうからです。どんなことにもあきらめない大人になりたいと思いました。

★一語一句納得ばかりさせられる話でした。これだけ、夢、仕事、自信などについて夢中に聴けるのは初めてでした。自分には「みんなに笑顔になってほしい」という夢があります。そのために僕は農業に取り組みたいです。でも自信がなく「ボクもです」と手を挙げるできませんでした。自信をつけるには、やはりチャレンジ。失敗してもあきらめない！成功したら自信がつくものだと思う。そしてその自信をもって夢に向かって歩み続けたい。楽しく生きるぞ~!!



本年度は、コロナ禍で、人と触れ合って学ぶ体験活動がなくなってしまいました。そこで、コロナ感染対策をしながらできる方法で何とか機会をつくれぬものかと考えて計画した「夢見つけ講話」です。

生徒たちは、講師の方のメッセージから、「どんな大人になりたいのか」「どんな社会人になりたいのか」「どんな仕事に就きたいのか」「自分の良さや強みはどのような仕事に生かせそうなのか」を自問自答するよい機会となりました。とかく「あなたの夢は何ですか？」と問われると「あなたはどんな仕事に就きたいですか？」と問われているように聞こえてきて、「夢はまだない」と答えてしまうことがありますが、今日の講話を終えて、上のような考えや思いに至っていました。どの夢や目標も応援したくなりました。

人との出会いは、考えを変えたり、深めたり、広げたりします。講師の方の一生懸命な語り、大きな成果をもたらしたのだと感じています。ご家庭でも子どもさんの感想を聞いていただき、夢を応援していただきたいです。